

## 第 12 回スペクトル管理 SWG 議事録

1. 日時:平成 16 年 6 月 11 日(金)10:00 - 19:30

2. 場所:TTC 事務局 4F DE 会議室

3. 出欠者:

・出席会員数/全会員数 24/33 (出席数には議長委任状2を含む)

・出席委員数/全委員数 44/61 (出席数には議長委任状3を含む)

以上により会議成立

・議長:池田佳和(SWG リーダ)、副議長:林明、松本一也、吉井伸一郎(サブリーダー)

4. 会議資料:寄書リスト

5. 議事要約

5-1. 議事次第について承認

5-2. 議事録担当 富士通アクセス

5-3. 前回議事録を確認 <SMS-12-01>

・PBO の必要性については、次回具体的な検討課題を例示して各社検討課題とする。

5-4. スペクトル適合性確認結果報告書について<SMS-12-02>

・上り・下りの組み合わせをセットにしてセクション分けしているため、異なる図番号となる場合もある。セクションごとに図以外にもコメントが対応しているので、現状の構成のままとする。

5-5. 課題表の確認 <SMS-12-03>

5-6. その他方式の課題<SMS-12-04>

・CO 収容 DSL と RT 収容 DSL とのスペクトラム適合性は次回に向けて各社検討する。

5-7. 第 3 版までの暫定運用に関する提案

5-7-1. ITU-T における拡張アップストリームの現状<SMS-12-06>--参考資料

5-7-2. 上り拡張に関する提案<SMS-12-07><SMS-12-08><SMS-12-09>

・<SMS-12-08>寄書取り下げ

・JJ100.01 第 2 版における干渉計算結果において下り 4Mbps を担保する距離制限より、さらに 500m 短縮した距離での暫定運用の提案があった。

5-7-3. 事業者間会合[上り拡張方式の導入について]議事録報告<SMS-12-5>

・上り拡張方式の導入については、周波数 276KHz まで、あるいは 483KHz までの適用距離制限を議論したが合意が得られず、「JJ100.01 第 2 版における干渉計算結果において、下り 4Mbps の速度を担保する距離制限」を基に、各社妥協案を探ることになった。

・妥協案は第 3 版までの暫定運用とする。

・11 月 30 日を目途に第 3 版を制定する。

5-8. 第 3 版制定に向けて<SMS-12-10><SMS-12-11><SMS-12-12>

・8M AnnexC ベースのユーザ距離速度分布データはイメージであり、次回会合に、定量的なデータを提示

する。

- ・BT およびマルチゲージの影響は第3版に向けての検討課題である。
- ・保護判定基準の見直し(保護判定マスクという概念を含む)は第3版に向けての検討課題である。
- ・TCM-ISDN がクラスA(保護されるシステム)であることに変わりはない。

#### 5-9. 第3版までの暫定運用制定に向けた妥協案について

##### 5-9-1 暫定案(妥協案)の意見集約について

上り拡張に関する暫定運用案については、以下の歩み寄りが見られた。

[合意事項]

- ・11月30日までに第3版を SWG にて Consent する
- ・2週間後の DSL 専門委員会(6/25 前後)で暫定案を決定する。

[暫定案]

EU 方式		SUQ 方式	
	~ 276kHz	~ 483kHz	SUQ2/SUQ
案	4Mbps 対応する距離 - 500m 例) EU-TIF 6 4 : 2.25Km	4Mbps 対応する距離 - 500m 例) EU-S11 2 : 2.0Km	案 2.0Km (UPBO 必須でない)
案	4Mbps 対応する距離 - 500m 例) EU-TIF 6 4 : 2.25Km	0Km	案 2.0Km (UPBO 必須)

[11月30日までに3版制定できない場合の対応]

EU 方式		SUQ 方式	
案 D	増設可	案 Y	増設可

[暫定案(妥協案)の組み合わせ]

+ D かつ + Y	イー・アクセス、TOKAI、KDDI、NTT東西
+ D かつ + Y	I、 の妥協案として
+ D かつ + Y	アッカネットワークス、JANIS、SBB、BBB

##### 5-9-2 暫定案(妥協案)の決定について

- ・合議制では暫定案合意に至らなかったため、リーダーより表決による合意形成の提案があったが、SWG で明文化された表決のルールがなく、6月25日前後に DSL 専門委員会を開催し、暫定案を決定する。
- ・DSL 専門委員会のメンバはほぼ本 SWG のメンバが参加していることより、DSL 専門委員会での判断は問題ない。ただし SWG の議論は十分に尊重することを前提とする。
- ・表決のルールについては、TTC ルールを確認し、事務局および DSL 専門委員会の委員長、副委員長間の判断に委ねる。

#### 6. 後任リーダーの決定について

・中立の立場での後任リーダーとして、吉井サブリーダー(SBB 技術顧問、北大助教授)を推す声が多かった。後日、吉井サブリーダーから受諾可否に関して回答予定。・リーダーが正式に決定されるまではサブリーダー間での共同運営とする。

## 7. 今後の予定

・次回以降の会合は以下日程を予定

7月2日(金) AM10:00～

7月22日(木) AM10:00～

8月19日(木) AM10:00～

今後は11月30日までの制定に向け、3週間ごとの木曜日開催を基本とする。

・寄書の提出は、SWG開催の前週同じ曜日の24時を期限とする。

・寄書に対する対案提出は、3日前の午前10時を期限とする。

以上